アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.86／ 2014 年 3 月

「アンテナ･伝播研究専門委員会からのお知らせ」第86号をお届けします.

【1】1月AP研開催報告

1月のAP研は,鹿児島内の西郷隆盛像のすぐ前にある宝山ホール（鹿児島県文化センター）で開催されました．今回は，IEEE AP-S Fukuoka Chapter，URSI-Fと共催で開催され，34件もの多くの発表の申込みがあり，今回も3日間開催となりました．

企画では，KDDI研究所の中野雅之氏をオーガナイザーにお迎えし,「邁進する無線通信電波伝搬の研究2014」というタイトルで，伝搬技術に関するオーガナイズドセッションが行われました．また，日本電業工作の恵比根佳雄様をお招きし,「移動通信用基地局アンテナにおける開発の歴史 －第1世代,第2世代用として－」というタイトルで,チュートリアル講演を頂きました．第1，第2世代の頃の携帯電話の基地局用アンテナについて，当時のエピソードも併せてご講演頂き,大変興味深い内容でした．

【2】2月AP研開催報告

2月のAP研は,名古屋市郊外のみよし市にある小島プレス工業(株)の総合研究所にて開催されました．駅までのシャトルバス，昼食用の社員食堂，また懇親会会場も小島プレス工業様にご提供頂きました．ありがとうございました．企画では，三菱電機の高橋徹氏をオーガナイザにお迎えし，企業特集セッションを開催しました．例年，2月のAP研は参加者が少ないのですが，19件もの発表があり，成功裏に終わりました．

【3】4月AP研企画講演のご案内

次回，4月のAP研は，4月17日(木)，18日(金)の2日間で，京都の二条城の近くにある立命館大学朱雀キャンパスで行われます．今回は，以下のチュートリアル講演，オーガナイズドセッション，特別講演が予定されています．皆様，ふるってご参加ください．

- ◆AP研チュートリアル講演：「多モードホーン及び周波数選択膜の電磁界解析基礎および設計例について」出口博之・辻　幹男（同志社大）
- ◆AP研オーガナイズドセッション講演者：新井宏之（横浜国大），宇野亨（東京農工大），菊間信良（名工大），堀俊和（福井大），前田忠彦（立命館大），森下　久（防衛大）（50音順）
- ◆IEEE AP-S Kansai Chapter 特別講演「ミリ波帯フェーズドアレイアンテナ（PAA）と高周波可変フィルタへのMEMS技術の展開」鈴木健一郎（立命館大）

【4】4月無線端末・アンテナシステム測定技術研究会（AMT研究会）企画講演のご案内

4月のAMT研究会は東北大学青葉記念会館で行います．24日には『kHz， MHz帯における放射測定技術』と題してチュートリアルワークショップを，25日には一般講演（3/10申込締切予定）を予定しています．皆様，ふるってご参加下さい．

【5】AP研基礎講座開催のご案内

下記の要領で，AP研基礎講座を開催致します．皆様ふるってご参加下さい．

◆日時：2014 年 4 月 22 日(火)・23 日(水)

◆開催場所：横浜国大 教育文化ホール(中会議室)

◆受講料：一般／会員 10,000 円，非会員 12,000 円・学生／会員 2,500 円，非会員 3,500 円

◆内容：1 日目：電磁気学の基礎（東京農工大 有馬卓司），伝送線路の基礎（埼玉大 木村雄一）2 日目：アンテナの基礎（東工大 広川二郎），基礎的伝搬と移動伝搬の基礎（同志社大岩井誠人）

◆受講申込み期間： 2014 年 3 月 28 日（金）～4 月 14 日（月）

【6】アドバンスト・ワイヤレス・シリーズ(AWS)AP研ワークショップ再開催のご案内

このたび，好評だった AWS 第一弾の再開催を下記の通り実施します．3 月に開催される総合大会に合わせて開催いたしますので，皆様，どうぞご参加ください．詳しくは AP 研ホームページをご覧ください．

テーマ：結合共振型 ワイヤレス電力伝送の基礎
－電磁界からのアプローチ。電磁誘導との違いは？－

講師：菊間 信良，平山 裕（名古屋工業大）

日時：2014 年 3 月 17 日 月曜日 10 時 30 分～17 時 30 分（予定）

会場：駅まえオフィス貸会議室 大会議室（JR 新潟駅万代口徒歩 1 分）

受講料：会員 20,000 円，非会員 30,000 円（資料代込，学生料金は設定しておりません）

参加希望の方は ap_ac-aws2-secretary@mail.ieice.org まで至急お問い合わせください．

【7】総合大会のご案内

総合大会は，3月18日(火)～21日(金)の4日間の会期で，新潟大学にて開催されます．AP研では，以下の3つの公募シンポジウムを企画しております．皆様，ふるってご参加ください．

◆移動通信システムにおけるアンテナ・伝搬技術の現状と今後の展望
（オーガナイザ：千葉工大 長敬三）

◆レーダ断面積の解析・計測技術（オーガナイザ：三菱電機 稲沢良夫 / 新潟大 石井望）

◆スマート社会を実現するワイヤレス給電技術とそれを支える各要素技術の動向
（オーガナイザ：九州大 庄山正仁）

【8】副委員長の戯言

1月にハノイで開催されたVJISAP～多くの方にご参加いただきありがとうございました．ハノイの道路は信号がほとんどなく，我々は道の向こう側に渡れなかったのですが，現地の方は難なく横断するのに驚かされました．運転者は人や車の動きに合わせ適応的に車線や速度を制御します．まさにアダプティブです．環境変動に追従できるよう，車の速度も比較的ゆっくりです．横断者はゆっくりと定速で横断する，というルール（予備情報）があるようです．走っても，止まってもいけません．注目すべきは，相関が高く分離できない（走行車線上の人を避けきれない）場合は，別のメディア（音波：クラクション）を使って環境の方を変えるという技術が導入されているところです．研究のヒントになりそうです．

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 長 敬三（千葉工大）

E-mail ： ap_ac-chair@mail.ieice.org（AP研執行部のメールアドレス）

AP-NET ： AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP ： http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/

ISAP Archives ： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/